
令和 8 年 北海道建築士会 第 1 回青年委員会 議事録

開催日時：令和 8 年 1 月 10 日（土） 13：30～ （Web 併用）

開催場所：事務局会議室（札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階） & ZOOM

出席：■加藤 寛基（釧路）

■藤原 麻美（函館）

■佐々木 誠（紋別）

■吉田 徹（札幌）

■伊藤 洋平（千歳）

■渡邊 忍（日高）

■黄田 信行（上富良野）

■久保田 俊（中標津）

■松岡 伸広（後志）

■齋藤 祐助（旭川）

↑ZOOM 参加

■菊地 義紀（統括理事） ■江川 麻希子（事務局）

議事録作成者：藤原

組織体制について

・令和 8 年青年委員会 委員構成

○委員長	：加藤 寛基（道東・釧路支部）
○副委員長	：藤原 麻美（道南・函館支部）
○副委員長	：佐々木 誠（道東・紋別支部）
○連合会出向	：吉田 徹（道央・札幌支部）
○道央ブロック長	：伊藤 洋平（道央・千歳支部）
○道南ブロック長	：渡邊 忍（道南・日高支部）
○道北ブロック長	：黄田 信行（道北・上富良野支部）
○道東ブロック長	：久保田 俊（道東・中標津支部）
○委員	：松岡 伸広（道央・後志支部）
○委員	：齋藤 祐助（道北・旭川支部）
○担当常務理事	：菊地 義紀
○事務局担当	：江川 麻希子

【協議事項】

1. 令和 8 年事業等について 13:40～

・令和 8 年事業方針

テーマ「つながる築く青年建築士」

昨年の法規改正や継続する物価上昇など、先行き不透明な社会情勢の中での任期となり、その責務の重さを強く感じています。人口減少や業界の高齢化、BIM・AI に代表されるデジタル化、働き方の多様化など、我々を取り巻く環境は目まぐるしく変化を続けています。とりわけ青年層の減少により、同世代が課題や経験を共有する機会が失われつつあります。建築士会の強みである職域を超えたつながりを改めて活かし、同世代が交流し学び合う場の創出に取り組みます。

・令和 7 年事業報告及び令和 7 年決算報告について【資料 1】

・令和 8 年事業計画及び令和 8 年予算について【資料 2】

・青年委員会の役割分担【資料 3】

2.全道青年委員会連絡会議について 14:20～

担当 ◎佐々木・黄田・久保田・松岡
日時 令和8年3月21日(土) 14:00～17:00程度(予定)
場所 かでる2.7 [520研修室 定員140名] (懇親会開催予定)
参集規模 全道各支部 60名程度
内容 ①令和7年事業及び決算報告 ②令和8年事業計画及び予算説明
③事業報告(建設産業ふれあい展、総合資格祝賀会、全国青年委員長会議)
④研修会 ⑤感想

研修会 「BIMやAIを活用したこれからの働き方(案)」
講師:株式会社ixrea 代表取締役 吉田 浩司氏
(日本建築士会連合会 青年委員会委員長)

準備 2月初旬 案内、フライヤー メール発送
同封 活動青年名簿(新雛型)、活動報告シート(新雛型)
当日資料 本部青年委員名簿(修正)

3.青年建築士の集いについて 14:25～【全国大会発表予定】

担当: ◎藤原・伊藤・渡邊・齋藤
日時: 令和8年5月23日(土) (確定)
場所: 道南 函館市
参集規模: 全道各支部 50名程度
内容: フィールドワーク・グループワーク (予定)

14:35～14:47 休憩

4.全道大会について 14:47～

・青年サミット

担当 ◎佐々木・渡邊・久保田・齋藤
日時 令和8年10月2日(金)
場所 札幌市内
内容 講演・フィールドワーク

・分科会について

担当 ◎藤原・伊藤・黄田・松岡
日時 令和8年10月3日(土)
場所 札幌市内
内容 ワークショップ

＜連絡事項＞ 14:57～

1.連合会青年委員会の動き【資料4】

- ・全国青年委員長会議（北海道2名出席 藤原・佐々木）

日時 令和8年3月7日（土）、8日（日）

場所 愛知県豊橋市

テーマ 「士会の豊かな職能とその可能性を掘り起こし 社会とのかかわり方を広げよう」
～アイディアをカタチにした学生コンペ 徹底解剖～

内容

1日目 委員長会議 13:00～18:00（受付12:30～）

意見交換会 19:00～21:00（受付18:30～）

2日目 委員長会議 9:30～12:00（受付9:10～）

2.全国大会について

- ・第68回建築士会全国大会 「ぐんま大会」

テーマ 絹の国 建築つむぎ 未来へはばたけ

日時 令和8年10月15日（木） 全国建築士フォーラム

令和8年10月16日（金） 全国大会交流セッション、本大会

場所 群馬県高崎市 高崎芸術劇場 / G メッセ群馬

3.その他

- ・年間スケジュール【資料5】

- ・定年制の質疑（斜里支部）

定年制を設けた理由

2年の猶予期間を設けているので、その間は活動OK。

令和10年から執行。本部主催の

会誌原稿について

本部から加藤経由で依頼 → 担当者（本部委員）が原稿作成 → 事務局へ寄稿
例年、各事業ごとに報告の執筆依頼あり。

各事業報告書・パネル作成について

各事業実施担当が事業報告書・パネルを作成。

総合資格学院合格祝賀会について

○日時 令和8年1月12日 開宴 17:00～19:00

○場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通5階

○担当 札幌支部

○参加者 本部青年委員長 加藤
 札幌支部青年委員会 小林大介（建築士会 PR）
 札幌支部委員 沼田、藤岡、谷、佐藤、

SNS による PR および活用について

Instagram、Facebook ページを利用して情報発信等を行う。

振り返りとしても活用。

例：連絡会議、集い、全道大会、建築士日のイベントの告知や報告の発信

ブロック協議会開催の告知の発信

- ・各ブロック協議会の他ブロック派遣の活発化
- ・今後の委員会開催について （随時Web開催）